

2022年8月

山口県教育委員会
教育長 繁吉 健志 様

山口県の定時制・通信制教育の充実を求める署名

ゆきとどいた後期中等教育を保障するため、これまで要求してきた教育条件整備や教員の労働条件に関し変化のきざしは見えています。しかし定時制・通信制教育には、さまざまな心理的な課題や、障害、貧困などの特別な教育的ニーズのある生徒が高い割合で在籍しており、その対応は差し迫った課題です。

通信制においては、スクーリング時における生徒の事故や急病への対策に加え、保健指導や相談等の対応として養護教諭の配置を要求してきました。13年度からスクーリング2会場で非常勤として実現しましたが、すべての会場での配置が求められます。

定時制高校の再編整備に関しては、これまでの少人数指導の良さを再確認して、豊かな学びが保障される教職員の配置や学習環境を整えていくことが必要です。

定時制・通信制に学ぶ生徒にも、全日制の生徒と同様に、安心して学習する権利が保障されなければなりません。とりわけ「だれでも、いつでも、どこでも」学べる定時制・通信制高校の原点をふまえることが、今こそ求められています。

つきましては、下記について要求します。

記

1. 定時制高校の再編整備については、職場や地域の意見を尊重してください。新設校は、教職員に過重負担とならないよう勤務体制を配慮し、教育環境の整備をすすめてください。募集停止の高校には、閉課程まで在籍者が不利益とならない対策を検討してください。
2. すべての定時制および通信制に、正規の養護教諭を専任配置してください。
3. 通信制のすべてのスクーリング会場に、養護教諭を配置してください。

なまえ	住 所

取り扱い団体（山口県高等学校教員組合）